

風里/風の街

開設5年目を迎え、地域の方々にもだんだんと受け入れられてきていると感じています。

生まれ育った地域で安定して暮らし続けられるように、日々の活動を通じて社会生活のルールを学べる支援を心掛けて活動していきます。

緊急時の預かり先・親なき後を考え、受け入れ先の検討や体験を勧めていきます。利用者さん本人、ご家族が安心して過ごせる場所を共に検討していきたいと思えます。

1. 生活介護施設の体制について

令和7年度は1名の新たな利用者さんの受け入れが決まっています。

(1) 人員体制の強化

自閉症などの研修に積極的に参加するなどスタッフ一人一人のスキルアップを目指します。

(2) 支援体制の強化

スタッフ間の情報の共有化を図り、どの利用者さんでも支援が出来る体制を強化していきます。

ア 風里

2つのユニットグループを作り、週毎に1F・2Fを入れ替わり支援を行います。

新たな利用者さんを迎え、現在いる利用者さんの特性を考慮し配置替えを行います。集中して作業が出来、落ち着いて過ごせる空間を提供します。

イ 風の街

集団支援に支障をきたす恐れがみられる利用者さんのケース検討と集団活動の見直しを図ります。

(3) 支援活動の内容

ア 風 里 ○個別対応と集団活動のバランスの取れた支援体制での請負作業、散策、創作的活動の実施

イ 風 の 街 ○集団活動を基本にした請負作業、散策、余暇活動等の実施

2. アセスメントの実施

令和7年度新たな利用者さんを迎えるにあたり、現在いる利用者さんも含めアセスメントを実施していきます。特性を正しく把握することで支援方法や余暇時間の過ごし方も変わってきます。各々に合った支援計画、穏やかな過ごし方を検討し、支援に活かしていきます。

3. 保護者との連携

利用者さんが穏やかに過ごすには、ご家庭との連携・情報共有が大切となってきます。日頃のコミュニケーションを大事にし、信頼関係の構築に努めます。

緊急時などの受け入れ先や休日の日中過ごす場所など、早めに検討が必要であるのに、なかなか腰の重たい保護者さんも多くいらっしゃいます。障害のある人が地域で安定した生活を送るために、家庭と連携しながら日中一時・短期入所の準備を共に進めていきます。

4. 他法人との連携に伴う情報共有

緊急時の預かりは法人内だけでは対応できない場合があります、1箇所だけではなく2箇所準備する必要があります。他法人との連携も必要となってくるため、施設の様子、家庭での様子を詳細にまとめたサポートブックの作成を行っていきます。日頃の様子やお互いの利用時の様子の情報共有も行っていきます。

(文責：片山志保)